

区政のつづきが聞きたい

第1回定例会 一般質問(要旨)

*詳しい内容は会議録をご覧ください。
会議録は、作成次第、区議会事務局、議会情報コーナー、区立図書館、行政情報コーナーに備えます。また、区議会ホームページでもご覧になれます。

元気のある豊島区政を目指して

自民党豊島区議員
里中 郁男

問 平成20年度の予算について、(1)原油価格高騰による物価上昇等、不透明な景気動向を踏まえた今後の中期的な区財政の展望は(2)道路特定財源の暫定税率廃止による区への影響は(3)「東京富裕論」による税収格差問題に対する見解は(4)今後の財政運営にどのような方針で臨むのか。

区長 (1)ほぼ収支が均衡し、安定的な財政運営が維持できる見込み(2)廃止されれば、5億円以上の減収は避けられない(3)法人住民税は財政調整交付金として貴重な財源であり、国の動向を十分警戒(4)引き続き構造改革に取り組み姿勢を堅持し、財政調整基金の充実等、景気に左右されない財政力が備わるよう努力。

問 新庁舎と都市再生について、(1)新庁舎建設に際し①旧日出小の市街地再開発事業の予定敷地確定に向けた状況、結論時期及び敷地確定以降の新庁舎検討スケジュールは②窓口サービスや防災拠点の強化、環境面の対策等、求められる新庁舎の具体的な中身は(2)都市再生について①「新ルネサンス構想の推進」によって池袋副都心をどのように再生していくのか②造幣局東京支局用地活用の今後の展開は。

区長 (1)①地権者との交渉等、

年度内の区域確定に向けて最大限努力している最終段階。区域確定後、整備方針案を修正し、整備地を絞り込んでいく②総合窓口設置、太陽光発電等の最先端の環境対策技術導入などの設備改善にとどまらず、職員のサービス意識改善にも積極的に取り組む③池袋駅東西デッキ構想等のリーディングプロジェクトと民間による開発とが一つの都市再生となり、ひかり輝く池袋副都心を築いていく④3月末までに、国から独立行政法人整理合理化計画の中期計画が示され、資産活用を具体策を検討。

問 都市防災について、(1)地域の一員として、災害時に区内事業者者に協力してもらうことが必要では(2)事業者自身の安全確保のため、事業所の防災計画作成や従業員を守るための備蓄推進などへの取組みは(3)事業者のBCP(災害時に重要な事業を中断させない、または中断してもすばやく事業を再開するため)に平常時から対応策を用意しておく(計画)策定推進に向けた今後の取組方針は(4)区・消防署・消防団・町会等の地域防災組織と事業者等、地域の防災を担う関係者が顔を合わせ、各地域の特性に応じた防災対策の検討等を行う地域防災会議の開催を。

総務部長 (1)大変有効であり、事業者等との連携で地域防災力のさらなる向上が図れる(2)啓発する(3)新地域防災計画に事業者の責務としてBCP策定を加え、普及啓発に努める(4)20年度中にモデル実施できるよう取り組む。

問 購入した興銀社跡地や丹羽邸を活用し、ソメイヨシノを



ソメイヨシノを活用し、地域の活性化を

核として駒込地域ブランドを推進しては。例えば、公園に桜を植栽し、桜の資料館をつくり、桜の名所、地域おこしの起爆剤とすることで、地域活性化にも大きく貢献できると考えるが。

区長 様々な地域ブランドプロジェクトの推進とともに、資料館実現を早期に図っていききたい。

問 教育について、(1)ゆとり教育と学力向上への考えは。また、教育科学水準の下落という調査結果に対する分析は(2)日本の「歴史・伝統・文化」教育の現状は。

教育長 (1)ゆとりが必ずしも学力低下につながるとは考えていないが、学力が憂慮すべき状況にあることは事実であり、少人数指導のモデル実施等、教育施策の充実に取り組み(2)総合的な学習の時間等で郷土の伝統文化等に触れる学習を工夫して実施。

区長 (1)指定管理者制度等民営化に取り組む環境が整ったこと、団塊世代等約700人の退職と約100人の職を再任用に振り替えること、職員一人当たりの住民数も2千人体制にすることで23区平均を上回ること(2)制度の改善に努める(3)約80点②負債額と基金額の差をなくすこと。

問 学級支援員制度について、(1)現在の学校教育制度は、障害の種類と程度により、原則として別学としているが、誰もが希望どおり当然入学できるように学校教育法を改正すべきでは(2)本区の実態は(3)制度に欠くことのできないのは、担任の理解と制度の質の向上。支援員の養成機関が必要では。

教育長 (1)一律に同じ場で同じ学習を行うことが必ずしもよい成果をもたらすとは限らない。



平成20年度豊島区予算書

慎重な議論が必要(2)保護者の意見を聞いた上で、就学相談委員会で見守り(3)就学先等を判断(3)特別支援教育研修会等への参加や特別支援教育巡回指導員による直接的な指導・助言を通して専門性の向上に取り組む。

問 藍染文化と対策について、(1)小学校での藍染授業の実態は(2)授業の成果と見解は(3)藍染文化を学ぶ場所の確保を(4)藍染に使われる籠や器の管理は。

教育長 (1)駒込小学校他3校で実施(2)伝統を守る大切さ、物づくりに対する生き方・学び方を学ぶなど、様々な学習成果があり、日本の伝統・文化理解教育の推進・充実を図る上で極めて重要(3)駒込小学校は家庭科室を利用しており、平成20年度には藍染作業がしやすいように改修(4)子どもたちが毎日藍染を管理。

問 新型インフルエンザ対策について、(1)新型インフルエンザ発生の危機感がかつてなく高まっている。区が今取り組んでいる対策は(2)リスクを負う医師等、最前線の人たちの感染予防対策は(3)区民一人一人が不安を解消し、身を守る正しい知識を身につけるための普及啓発対策は(4)発熱センターや発熱外来の設置を(5)電話相談のあり方は(6)ワクチンの確保は。

池袋保健所長 (1)平成19年5月に区の行動計画マニュアルを策定。昨年11月には、全庁的な図上訓練、関係機関の協力を得て実地訓練も実施(2)保健所では医師会分も含めて個人防護具等の確保を計画(3)区における感染対策に関するガイドラインにより普及啓発に努める(4)昨年よ

り医師会・薬剤師会と協議中(5)海外発生の段階から、保健所に専門相談窓口の設置を計画(6)ブレパンドミックワクチン原液1千万人分は国が備蓄。発症予防ワクチンは発生後でないといふことができず、接種可能まで半年かかるとされている。

問 平成20年度予算について、(1)未来戦略推進プラン2008における位置付けは(2)盤石な財政基盤づくりのための選択と集中は(3)債務の返済についての基本的な考えは(4)職員への経営方針の徹底について①職員との意思疎通、信頼関係づくりは②現場の声を吸い上げる体制づくりは③人材育成の取組みは(5)区有施設の改築整備方針について①財源確保も含め、改築改修整備にどう取り組むのか②区有施設の整備、改修における選択と集中の考えは③施設整備や未利用地の有効活用には民間の知見のさらなる活用を。

区長 (1)将来への展望を切り開く布石となる(2)50の戦略プロジェクトを選択し、これらを重要施策と位置付けている(3)決算剰余金を初め、区税や財政調整交付金の増収分を活用し、繰上償還に取り組む(4)十分なヒアリングを実施し、職場で十分

な議論をするよう指示②無記名での感想や意見の提出、職員との対話の場の設置③新たなものに挑戦する職員の育成、変革を恐れない職場風土の醸成。

施設管理部長 (5)改築は施設の集約とその跡地の資産活用をセットにした手法、改修は財源の裏付けを含めた4年間の実施計画を担保②集約化・充実化が図れる施設は財源を集中して振り分ける③調査・研究、実践の中で検証し取り組む。

問 椎名町駅周辺整備について、(1)国庫補助制度活用の見直しは(2)今後のスケジュールは(3)現時点で想定される整備イメージは。

都市整備部長 (1)駅・まち一体改善整備事業として国の予算案に盛り込まれている(2)今年9月頃までに施設計画の内容を固め、20年度末までに具体的設計を完成(3)椎名町駅を橋上駅舎とし、エスカレーターとエレベーターを備えた自由通路で連絡。

問 環境政策について、(1)支援策について①区民、事業者などに積極的な支援策を講じるべき②支援策の基本方針は③大幅なCO₂削減を進める上での支援策のイメージは(2)清掃・リサイクル事業について①容器包装プラスチック資源化の基本的な方



椎名町駅周辺整備は

向は②生ごみ発電モデル事業の位置付けと今後の展望は③地域にふさわしい資源化事業を進める仕組みづくりをすべき。

区長 (1)本区にふさわしい効果的な支援策を検討し、環境基本計画に反映②国や都の支援策の活用を積極的に図り、区財源を効果的に投入③多様な形の経済的インセンティブが組み込まれた施策の展開を考えていく(2)20年度策定予定の一般廃棄物処理基本計画に位置付けていく④再生可能エネルギーの活用制度における位置付けなども検討し、環境政策の展開にも生かす⑤リサイクル・清掃審議会の審議を踏まえ、地域にふさわしい資源化事業の構築に生かす。

問 区が新たに整備する施設にちよつとした工夫を施し、トキワ荘の歴史や漫画文化を身近に感じられる取組みを。

文化商工部長 トキワ荘を地域のブランドへ昇華させるように、地域の方々とともに、様々な施策に取り組んでいく。

開発優先から、くらし・福祉第一の区政に転換を

日本共産党
垣内 信行

問 区民生活の実態に対する区長の認識と具体策について、(1)消費税増税は、区民生活を守る上でも絶対に許してはならない。首相の増税に向けた抜本的見直しの表明に対し、明確に反対の

明るいよしまの未来に夢と希望・愛の政策を!

民主区民
大谷 洋子

平成20年度予算について、

意を表明すべき(2)生活に苦しむ区民が増えている実情の認識は(3)住民税大幅引上げに苦しむ区民への救済策として、区の軽減策実施を(4)65歳以上で一定の介護状態にある方が、身体障害者手帳を持っていないでも所得税・住民税の障害者控除が受けられる制度は、控除対象認定が18年度実績22件と少なすぎる。認定要件を緩和し、周知徹底を。

区長 (1)現時点で表明する考えはない(2)税制改正等により高齢者・障害者等の世帯では生活に大きな影響があったと認識(3)自治体が独自に税制改正の趣旨を修正すべきでない(4)引き続き適切に運用。周知方法は検討する。

問 後期高齢者医療制度は、高すぎる保険料による高齢者の負担増、年金支給額が月1万5千円の人からも一方的に保険料を天引きするなど、あまりにも非人間的な悪法。(1)改めて制度の中止と抜本的見直しを国に求めるべき(2)減額対象となる高齢者に手当を支給するなど、実質的に減額を行う区独自の保険料軽減策を直ちに具体化すべき。



広報としま(後期高齢者医療制度特集号)

区長 (1)求める考えはない(2)軽減策導入は制度上でできない。手当支給による減額の考えもない。**問** 20年度予算を「積極型予算」というなら、削減した区民サービス(福祉で年間8億円、教育で1億円)を最優先に復活・拡充すべきだが、削った福祉の復元は1億円にも満たない。来年度予算をくらし・福祉・介護などに区民需要優先に転換し、直ちに具体策を実施すべき。(1)削減

ありきの職員2千名体制の定員管理計画は改めるべき(2)低所得者への支援策として①灯油代補助の実施及び夏期・冬期の見舞金支給制度の復活を②生活保護の入浴券支給を60枚に戻すべき(3)介護について①介護保険料の抜本的見直しを②特養ホームの待機者増に歯止めをかけるため、需要に見合った特養ホームの建設計画をつくり、実現すべき③我が党区議団は、今定例会で在宅高齢者生活支援サービス事業に関する条例を提出した。介護制度改善によりサービスが縮小される中、区が率先して介護サービスを拡充すべき④施設入所に関する相談窓口体制の強化を。

区長 (1)見直す考えはない。**副区長** (2)①補助、復活は考えていない②財政状況を考慮し対応していきたい③④国の動向を注視する⑤前向きに検討していく⑥③区独自の拡充は行わない④今後とも親身になって施設入所や介護等の相談を受けていく。

問 住民本位の街づくりについて、(1)旧日出小地区に事実上決定しているような新庁舎建設の進め方は、区民を無視したもので、また、新庁舎構想をもとに、新庁舎整備・東西デッキ・LRT等の大型開発計画を進めようとしているが、これらは莫大な経費を要し、区民需要が圧迫されるのは明らか。計画は撤回し、区民参加で進める街づくりの考え方に改めるべき(2)マンション建設について①住環境を守るため、マンション建設等の規制緩和に歯止めをかける独自策をつくるべき②建主の説明責任や住民との合意形成等を義務付けるよう紛争予防条例改正を付けるよう紛争予防条例改正を。

区長 (1)都市再生をリードするプロジェクトのために新ルネサンス構想は重要。区民参加の街づくりは基本であり、見解の違いと考える(2)現段階では、独自規制策の策定は考えていない(3)条例改正を視野に入れ、検討



民営化の望ましいあり方(PFI)指定管理者制を中心として)

豊島無所属
日野 克彰

問 PFI・指定管理者制等の民営化には、成功事例だけでなく、失敗事例も数多く報告されている。区では、PFIのような事業規模の大きな民営化はなく、問題も顕在化していないが、導入には、世界標準に準じた仕組みを構築し、取り組むべきポイントは、次の3点が一体となった詳細な契約を民間業者と交わすこと。①要求するサービス水準を客観的かつ詳細に明確化②サービス水準の監視方法を明確化③モニタリングにより、要求水準が達成されない場合の支払いの減額を明確化。



民営化の望ましいあり方は...

施設管理部長 PFI事業を進めるに当たり、検討していく。**再質問** 質問には、区の指定管理者制等にも細かい要求水準があるべきではないかということも含んでいるが、その点は、**政策経営部長** 十分精査し、一定の基準をつくりながら、今後検討していく。

幻の区道に50嵐の(2008)

行革一〇番
五十嵐みのる

問 区長は道路管理者。歩行住民の区道通行上の安心安全を確保する責任がある。しかし、本件区道は、およそ安心安全とは程遠い危険な公道と化している。歴代の区長が長年にわたり、生コン会社重量車両の占用使用を容認してきたからである。私は、先日の議員協議会で、区長に次の質問を行った。「区道認定を受けた昭和28年から今日まで、歩行区民の危険除去のため、生コン会社に対し、重量車両の本件区道使用の停止を一度たりとも求めたことがあったかどうか」に対する答弁は、「一度もありません」というものだった。

(1)地域住民が重量車両等との接触を心配することなく、安心安全に本件区道の歩行ができる是正措置を喫緊に図りたい(2)本件区道認定を廃止し、これを生コン会社あるいは第三者に売却するようなどは、まさか考えていないと思うが、いかがか。



区道通行上の安全確保を

土木部長 (1)車両の通行と歩行者の安全な通行を両立させる方策を見出すのが困難な状況であり、具体的な対応策がない(2)廃止・売却は考えていない。**再質問** 本件区道を歩行する

「教育豊島」の復活を目指して

刷新の会
古坊 知生

問 教育行政について、(1)学力向上に向けた取組みは(2)脱ゆとり教育や授業時間増加が教育現場に混乱を起こさないための対策は(3)外国人や障害を抱えている子どもたちの年度途中の異動等に対応できるように、全体として皆が目届く体制づくりを(4)道徳教育の位置付けは(5)男女別の着替え等、学校における男女の取扱いの現状は(6)教育に関するタウンミーティングの開催を(7)教師力の向上にさらなる取組みを(8)スクールカウンセラー活用成果は(9)クレーム対応等、学校の課題をそれぞれのスペシャリストに解決してもらおうシステムの構築を(10)竹岡健康学園の存続を(11)幼・小・中学校連携の進捗状況は(12)ソフト面における豊島の教育方針を示す「教育基本条例」の検討を(13)「教育豊島」の実現に向けた決意は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。



竹岡健康学園の存続を

教育長 (1)授業改善推進プランを作成し、授業の充実等を図っている(2)混乱なく新学習指導要

これからの豊島のかたち

自民党豊島区議団
本橋 弘隆

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

区長

観光施設を検討。区民の意見を可能な限り反映②ソフトを重視した具体的な方策の検討(2)西部地域は、区内でもコミュニティバス導入の必要性が高い地域と認識しているが、潜在的な移動ニーズや利用者見込み、採算性など様々な角度から十分な検討・分析も必要。6月頃までに導入方針案を策定(3)施設イメージ、利用ニーズ、事業経費を調査。他の計画と調整④旧千川小学校は、近隣公園を整備。旧第十中学校は、自転車保管所、文化財等の取扱い、スポーツ施設整備など課題が多い。

問 清掃・リサイクルのありかたについて、(1)廃プラスチック回収事業のモデル実施について①モデル実施の評価は②他区清掃工場の実証確認の結果と本格実施後の実証確認は③本格実施に向けての取組みは④区と清掃一組の連携について⑤連携の具体的な中身は⑥清掃工場の安全で安定的な運営のための清掃一組の課題等、本区の認識は⑦資源回収について⑧モデル実施で回収回数増が集団回収に与えた影響は⑨集団回収への対応は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

問 豊島の西部地域のかたちについて、(1)西部地域における文化のまちづくりの推進について①西部地区における文化・芸術プロジェクト推進事業の検討内容と実施の方向性は②地域ブランド創出支援事業との関係は③文化施設、健康・福祉施設とコミュニティバスの連携について、文化・観光、公共施設との相乗効果を狙った事業展開が必要。コミュニティバスは、文化施設等が数多く所在する西部地域に真つ先に導入すべき(3)学校跡地の本格活用の取組みについて①基礎調査での内容と整備スケジュールは②旧千川小学校、旧第十中学校の早期整備への課題は。

未来を担う子ども達の健やかな成長を願って

民主 区民
和賀井哲代

問 議会と執行機関の関係について、(1)一般質問を一問一答方式に改めると(2)代表質問方式を導入しては(3)一般質問や委員会等での区長等に対する議員の自

問 議会と執行機関の関係について、(1)一般質問を一問一答方式に改めると(2)代表質問方式を導入しては(3)一般質問や委員会等での区長等に対する議員の自

問 議会と執行機関の関係について、(1)一般質問を一問一答方式に改めると(2)代表質問方式を導入しては(3)一般質問や委員会等での区長等に対する議員の自

問 議会と執行機関の関係について、(1)一般質問を一問一答方式に改めると(2)代表質問方式を導入しては(3)一般質問や委員会等での区長等に対する議員の自



議会と執行機関の関係は

